



謹賀新年



新しい年政治を変える年に 日本共産党

憲法と命が輝き、
暮らしが花咲く政治実現へ

日本共産党参院議員 井上さとし



新年おめでとうございます。昨年の参院選での皆さんのご支援で4期目の当選ができました。11月には、田原総一郎

市民と野党の共闘発展で 来たるべき総選挙勝利へ

日本共産党衆院議員 もとむら伸子



2019年を振り返ると、市民+野党の共闘の信頼関係が強まり、希望の光がいつそ

さんが会長のNPOから質問ランキング「3つ星議員」の表彰を受けました。さらに皆さんの声を国会にしっかりと届け、実現させると決意を新たにしています。国会は季節外れの「桜」が満開。この桜は根腐れしています。市民と野党の共闘を発展させて倒しましょう。憲法と命が輝き、暮らしが花咲く政治実現へがんばります。

す。信頼関係の強まりは、憲法審査会で自民党の改憲4項目の提案を一秒たりともやらせない大きな力となりました。2020年、いっそうつながって、一緒に声をあげ、一人一人の尊厳が何よりも大切にされる国づくりへ全力をあげてまいります。衆議院選挙、比例東海ブロックで2議席以上勝ちとるために、どうぞお力をお貸しください。

「住民こそ主人公」の立場で頑張ります

各務原市議会議員 ハタノこうめ



昨年12月議会では特別支援学校を市立として建設すると答弁を引き出すことができました。関係者からは喜びの声

が寄せられ、長年、県や市に要求し続けてきた成果です。みなさんと力を合わせれば願いは必ず実ります。消費税の増税、相次ぐ社会保障の改悪によって苦しくなっている市民生活を守るためにも「住民こそ主人公」の立場で力を尽くします。本年もどうぞよろしくお願

2020年

ハタノこうめの議会報告会と 党と後援会の新年会



★ 1月13日(祝) 10時～市政報告会

★ 12時～新年会

★ 川島河田町公民館

★ 新年会の会費：大人1,000円 子ども500円

中川ゆう子県会議員が来てお話いたします。

申し込み：ハタノこうめ 090-9947-4988

鈴木 芳男 0586-89-2813

河田 博 058-383-6624



水脈読者版 第229号

2020年1月1日発行 / 日本共産党各務原市議ハタノこうめ、ながやてる子
各務原市川島小網町2144-55 TEL 0586-89-3924 携帯090-9947-4988

ハタノこうめ議員の一般質問

市長は、台風の最中米国出張

ハタノ議員 市民の安全・安心を

最優先にと主張



質問するハタノこうめ議員

同時期、台風19号が6日発生し、猛烈な台風に発達し日本列島に上陸すると予測されていた。12日には各務原市にも、暴風警報・大雨注意報が出され、避難所が開設されました。幸いにもこの地域の被害は少なく大事に至らず幸いでした。

市長は、10月7日から12日までの予定でシアトルやエバレットなど米国へ海外出張しました。

市長もこの台風の影響を受けて帰国予定だった12日には帰ることができず、やむなく14日に2日遅れの帰国となりました。大型台風が日本に近づいてい

る状況の中でも、市長は米国へ飛び立ち、また途中で引き上げて来るという判断にも至りませんでした。

なぜ途中で引き上げるとい判断にならなかったのかと質問しました。

市長は、米国訪問はシアトル航空博物館の連携協議やボーイング社へのトップセールスや情報収集など大変重要な訪問であったことからその任務を遂行した出張時は支障をきたさないよう万全の体制を整えていると、珍しく市長自身が答弁しました。

ハタノ議員は再質問をし、以前、市長は災害が起きれば一刻も早く市役所に駆けつけますと言っていました。また市長の一番の仕事は市民の命とくらし、安全安心を守るのが第一の責務。

見守っていくと、消極的な答弁をしました。



国は「核兵器禁止条約」の批准を 市は政府に批准を求めないと答弁

日本は、唯一の被爆国でありながら、「核兵器禁止条約」の署名も批准も拒否していることはとても残念です。被爆者たちは、生きていくうちに何としても核兵器のない世界を実現したいと「ヒバクシャ国際署名」を集めています。浅野市長も署名をしていただいております。

止条約に背を向けていることについてどう考えるのか。国に対して、核兵器禁止条約の批准を強く求めることについて市長の考えを聞きました。

ハタノ議員は、世界で唯一の戦争被爆国の政府が、核兵器禁

盟し「核兵器禁止条約」の早期発効を求める特別決議」を採択しているとしながら、条約が世界に与える影響や政府が国際社会の枠組みにおいて果たす役割を



ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える 核兵器廃絶国際署名

被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求めます。

海外出張を優先すべきではない。途中で引き上げてくるという選択をしなかったのはなぜか、と質問。

今度は市長は答弁には立たず、市長公室長が、市長とは常に連絡を取っていることや市長を補佐する体制がとれていること、海外出張の必要性など答弁しま

したが、市民の安全安心を優先することにについては答弁を避けました。

お詫び

第228号申請願に対して「19対4で否決されました。」の部分が隠れてしまっていました。お詫びいたします。

小島博彦議員、ハタノ議員の討論に難癖

討論は、思想信条を自由に述べる事ができる

ハタノこうめ議員は、以下の反対討論を行いました。各務山地区を地区整備計画に加え区域内における建築物等の制限を定める条例です。各務山地区を工業団地として整備する計画ですが、市民からは依然として反対する声があり、あさけんポストにも投書が寄せられていること、各務原市内の中心地であり、今後、特別支援学校や総合体育館などかなりのまとまった土地が必要となり、候補地として考えられること。土地が売れ残ってしまった時などを考えれば、今、制限をしない方がいいと考え、この条例改正に反対と反対討論を行いました。

た市民に誤解を招く発言があったので確認を。」と発言し、議事を止めました。協議の結果「内容を確認したが、ハタノ議員の主観に基づくもので、市民に誤解を招くとまでは言えない」と、議長はなんら問題のない発言であるとしませんでした。

市議会の討論は、賛否の理由を述べることにより自分の意見に賛成・同調することを他の議員に求めることであり、自分の意見や考えなど思想信条を自由に述べる事ができるものである。

「議事進行」とは、議事の進め方について異論や要望、確認する点がある際に議長に対して発せられる。例えば市長部局の答弁に食い違いがあったり、議員の発言が議会の品位を傷つけると受け取られた際に発せられることがある。

すると小島博彦議員が「議事進行」と挙手し、「特別支援学校や総合体育館の候補地がある特定の場所であるとい